

千葉盲学校の生徒さんから感動のお便り



「バイオリンとファゴットがお気に入り
の楽器になりました」(小学部)
「ティンパニーを触らせてもらいま
した。音の高低を説明してもらってわか
りました」(小学部)
「楽器もさわりました。ティンパニーを
たたいたら、ポーンという音がして、足
のペダルを踏んだらコーンと音がしま
音が変化するのがすごくおもしろ
かったです」(小学部)

指揮者への憧れ
「指揮をした時は私が見てとて
もうれしかったです。指揮者をして
た指揮棒をうちにつけてかえりCD
けながらふってみました。自分も
トラの指揮者になったみたい
です」(小学部Sさん)

「ぼくはバイオリンが見れてとて
うれしかったです。指揮者をして
た指揮棒をうちにつけてかえりCD
けながらふってみました。自分も
トラの指揮者になったみたい
です」(小学部Tさん)

「指揮を体験できてうれしかった
自分の指揮に合わせて演奏してく
がうれしかった」(小学部)
「バイオリンがとても楽し
指揮者を選ばれたけど、選
ったのが残念でした。今
度は選ばれたいです」(小学部)

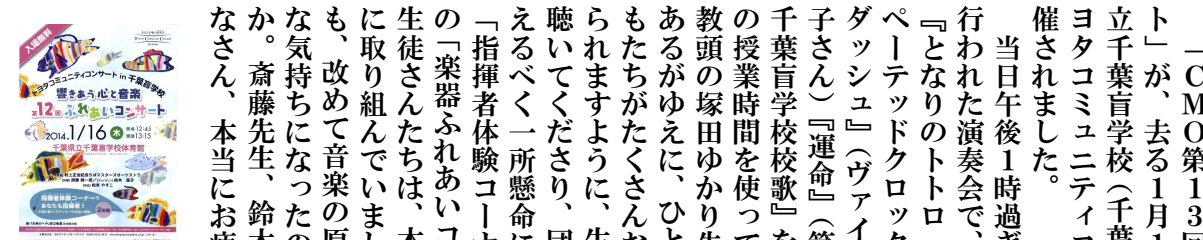
オーケストラ伴奏で校歌を歌った感動
「校歌をオーケストラで歌
かったです」(小学部)
「私は、校歌をオーケ
で歌えてとてもうれ
しギターをひいたこと
はいろいろな楽器を
演奏したいです」(小学部Aさん)

「ぼくは、校歌オーケ
を聞きました。ピアノ
がわかりました。が
下さってありがとうございます」(小学部Kさん)

「びっくりしたのは、オーケ
奏で校歌を歌ったこと。いつも
ので、違っ気分になれた」(高等部Sさん)
「最後の校歌のオーケ
た」(高等部Tさん)

そして、生徒さんたちは皆さん、お便りの最後に、「また盲学校に来て演奏をしてもらいたい」との願いを記してくださいました。生徒さんたち、心のこもったお便りがありありがとうございます。
生徒さんたちが寄せてくれた感想は、私たちがこれから音楽活動を続けていくうえで、とても参考になり、示唆に富み、何よりも心の糧になることばであると思います。この感動を胸に、村上先生の遺言「音楽を楽しむ喜び」を改めて噛みしめ、CMOの活動に取り組んで行こうではありませんか。
最後に、今回、このような機会を提供してくださった、千葉県立千葉盲学校の先生方、トヨタ自動車および千葉県オールトヨタ販売店様のご協力に感謝申し上げます。
(まとめの文責 当団広報・山岸修)

トヨタコミュニティコンサートを開催しました



「CMO第13回ふれあいコンサート」が、去る1月16日(木)、千葉県立千葉盲学校(千葉県四街道市)で、「トヨタコミュニティコンサート」として開催されました。
当日午後1時過ぎから同校体育館で行われた演奏会で、『ラデツキー行進曲』『となりのトトロ(さんぽ)』『シンコペーテッドクロック』『踊る猫』『チャルダッシュ』『ヴァイオリンソロ 鈴木菓子さん』『運命』(第一楽章)『千葉県立千葉盲学校校歌』を披露。1時間足らずの授業時間を使つての演奏会でしたが、教頭の塚田ゆかり先生が、「視覚障害があるがゆえに、ひととき音楽を好む子どもたちがたくさんおられます」と語っておられますように、生徒さんたちは熱心に聴いてくださり、団員一同も、それに応えるべく一所懸命に演奏いたしました。
「指揮者体験コーナー」や、演奏終了後の「楽器ふれあいコーナー」の時間には、生徒さんたちは、本当に真剣に楽しそうに取り組んでいました。参加した団員も、改めて音楽の原点に立ち返つたような気持ちになったのではないでしょう。斎藤先生、鈴木さん、参加団員のみなさん、本当にお疲れ様でした。

「トヨタコミュニティコンサート」
CMO第13回ふれあいコンサート」
の感想文をいただきました

塚田先生より、生徒さんたちが書いてくれた感想文をお送りくださいました。幼稚部のお子さんには塗り絵を描いて送ってくれました。生徒さんたちは、オーケストラ演奏のどんなところに興味を惹かれたり、敏感に反応されたり、楽しく感じられたのでしょうか。紙数のある限りご紹介したいと思います。

音楽を身体で心で感じて
「全部の曲がきれいでした。特にバイオリンの音がよかったです。最後には校歌も歌えたい楽器にもさわられて楽しかったです」(小学部Hさん)

「私は何回かオーケストラをききましたが、ちばマスターズのオーケストラの演奏はすごく心に響きました。私はどれかの楽器を演奏してみたいなど、きいている間に思いました」(小学部Nさん)

「ほとんど聞いたことのある曲でとても素晴らしい演奏でした。音楽が私の心の中にすごく響いてきて、とても感動しました。楽器をさわったり、吹いたりしたのもとても楽しかったです」(中学部Kさん)

「チャルダッシュの曲を聴いてバイオリンの音がとてもお腹に響きました。もう一つは、ベートーベンの運命を聞いて、太鼓の音が、私たちがいつも演奏している和太鼓よりも、すごく大きかったので、とてもかっこよかったです」(中学部Nさん)

音楽の中に溶け込んで
「『踊る猫』の『ワンワン』が少し怖かったです」(小学部)
「『にゃーお』を楽器の音でやっていたのが、おもしろかった」(小学部)
「朝の会で、ウッドブロックを使って演奏している『シンコペーテッドクロック』は耳を澄ませて聞いていました」(小学部)

「今日はラデツキー行進曲やとなりのトトロやモンテイーを聞きました。一番おもしろかったのは、となりのトトロでした」(小学部)

「おどる猫の曲で、ワンという音が本物の犬みたいでした。運命という曲ではとてもかっこいいと思いました。中学3年生になったら、(指揮者コーナーで指名されて)指揮者になってみたいです」(中学部Tさん)

「印象に残った曲は、となりのトトロでもおなじみのさんぽです。私は、本当にさんぽしているみたいに思えて、すてきでした。(踊る猫は)猫の鳴き声を楽器で表現できるなんて驚きました。今度、バイオリンを習いたいと思いました。なぜかという、オーケストラの演奏を聴いていたから、私もきれいな音で演奏したくなかったです」(中学部Kさん)

楽器に触れる喜び
「演奏会終了後に、たくさん楽器に触らせてもらったのがうれしかったです」(小学部)
「バイオリンを弾かせてもらってうれしかったです」(小学部)